

令和 6年度 北見カトリック学園 遠軽ひばり幼稚園 学校評価

1.教育目標

- 愛する子ども 私たちは誰もがみな神さまに創られ、愛されていることを感じ、いつも見守っていて下さる神さまを信じ、祈り、どんな人をも分け隔てなく愛することができる子どもを育てる。
- 正しい子ども 間違っていることを正せる、強い心と身体、そして行動力を持つ子を育てる。
- 考える子ども 様々な経験を通し、興味関心を持ち、思慮深く考え、自分で研究することのできる、個性・創造性豊かな子どもを育てる。

2. 教育目標達成に向けての5年度の重点

- イエスキリストの愛の精神を伝え、共に生きる子どもへと導く。
- ・日常生活を通し、自然や環境の中で、神さまの恵みに気づき、祈ることのできる環境を整える。
 - ・子ども一人ひとりが主体的に取り組み、創造的・意欲的に伸び伸びと活動できる保育環境を整える。
 - ・異年齢クラス編成の中で、互いに認め合い、尊敬し、いたわり、協調しあう意識を養っていきける環境を整える。
 - ・ありがとう、ごめんね、いいよの思いを自然に伝えることができる環境を整える。

3. 評価項目の達成状況

評価項目	結果	理由
教育内容・環境の充実と計画性	3.5	幼保園に変わったことで、今まで通りに進まないことや、新しいことへの判断に迷うことが多く、なかなか計画通りにいかず、その都度職員で話し合いを設けてきた。担任の個性が光る保育よりも、全体のバランスを優先してしまうことが多かったように思う。
保育の充実と園児との関わり	3.7	他児とのトラブルが多い特定の園児を意識してしまい、事故の無いよう守りに入った保育が中心になってしまった。担当が変わることで問題なく過ごすこともあったため、職員の中には自信をなくしてしまう者もいた。みんなにとって難しい一年となった。
安全管理	3.8	幼保になったことで毎月の課題を決め、避難訓練を実施してきた。今まで経験の無かった項目も、他園から異動してきた職員を中心に訓練を実施したことで、職員にとっても大きな学びになった。園庭の完成を待ち、園内での実施が多かったため、園外避難を来年度の課題にしていこう。
地域の幼児教育機関としての役割	3.3	新園舎になったことで未就園児教室の参加人数が増え、子育て中の方が来園する機会が増えた。園行事の誕生会と曜日を合わせることで園行事に興味を持ってもらうこともでき、新入園児確保にも繋げることが出来た。小中学校との交流も継続し、今年度も実施できた。
教員の資質・能力向上	3.7	保育園や自園給食が始まり、迷う事も多かったが職員で相談しながら乗り切ることが出来た。また、夏休みを利用して、講師を招き運動遊びの研修を実施し、その後、学んだことを発表会に取り入れるなど、保育の広がりを見ることが出来た。
保護者との連携	3.8	若い職員も積極的に子どもの様子を伝えることで、良い関係が築けたように思う。しかし、園バスを利用しているご家庭との関りが少なかったのではという反省もあり、来年度は職員が添乗員となることも検討していく。

※結果の表示方法 4 十分達成されている 3 やや達成されている 2 あまり達成されていない 1 取り組まれていない

4. 5年度の総評

結果	理由
3.6	・新園舎での保育が始まり、園生活や行事についても再度検討しながら一年を進めてきた。保育園に関しては、それぞれが今まで経験してきたことを持ち寄り、兄弟園の情報を教えてもらいながらなんとか無事に一年を終えることができた。自分の担当すべき場所で、それぞれが力を発揮してくれたおかげと思う。 ・保育の充実や質の向上については、まだまだ不十分だが、職員が休まずに出勤し、みんなが程よい距離で仲良くできているので安心している。また、主任が二人になったことで、うまく仕事を分担し、職員指導にも力を注いでくれていることも大きい。今後は、若い職員が経験を重ねていくことの楽しさや、達成感を感じられるように援助していこうと思う。 ・給食職員が安定せず、短い期間で退職者を出してしまい、働きながらも負担をかけてしまったことが反省となる。今後も働きやすい環境づくりを目指す。

5. 来年度に向けての課題

- ・職員の個性を大切に、充実した保育ができるよう幅広い分野に分かれての研修を取り入れていく。
- ・幼保園になったことで、職員の働き方が2パターンになってしまったので、連絡事項が洩れることの無いように配慮していく。
- ・出生数が減少していく中で、園児を確保していくための園作りについて職員と検討し、地域に投げかけていく。開かれた園となるよう未就園児教室を大切に、入園に繋げていく。
- ・こどもの心を育てる幼稚園ということを園目標にして勤めていく。